

# ゆめゆめ

<http://kurumi-fukushikai.net>

## 新年度に向けて

夢工房くるみ サービス管理責任者 大月篤



社会保障審議会において障害者総合支援法改正法施行後3年の見直しについての中間整理が昨年12月に行われ、令和4年半ばまでを目途に最終的な報告書を取りまとめることになっていきます。今回の見直しの基本的な考え方として、「障害者が希望する地域生活を実現する地域づくり」「社会変化等に伴う障害児・障害者のニーズへのきめ細やかな対応」に加えて「持続可能で質の高い障害福祉サービス等の実現」の3つを挙げています。3つ目の「持続可能」については国連が掲げたSDGsに合わせた表現と思われませんが、国として福祉を持続できるかの可能性を論ずることに国政に対する強い危機感、憤りを感じずにはいられません。岸田政権に代わってからも前政権に引き継ぎ公助よりも自助・共助を求める今、国は目標を設定するだけで、取り組みは国民に丸投げされているように思われます。

運営面では昨年度は新型コロナウイルスの影響により、BCP（事業継続計画）の策定が強く求められた印象があります。事業継続計画とは緊急時にも事業を途

切れずに継続するための計画で、東日本大震災以降から必要性を検討されてきました。新型コロナウイルスの影響により、昨年は法人のBCPについての見直しの機会になりました。濃厚接触者の出勤停止などが何度も波のように事業所に押し寄せましたが、現場は混乱しつつも利用者さん、職員ともに柔軟に対応してもらえたことで、クラスタの発生もなく収束することが出来ています。ご家族や関係機関の協力によって困難な状況を切り抜けたことは感謝しかありません。また、自治体によつては「大変な状況ですので」と報告書の簡素化などの配慮をしてももらえることもありました。行政による現場レベルの思いやりを感じた瞬間です。このような経験から法人の事業継続計画を振り返り、不測の事態は必ず起こるものだが「お互いが手を差し出すことで切り抜かれることがある」とことを実感出来たことは嬉しい経験でした。この言葉を事業継続計画書に書くことはありませんが、社会福祉の根幹にあるものであり、我々は率先して手を差し出すことが出来る法人でありたいと思います。

令和3年度は社会福祉法人北摂杉の子会さんより山根和史氏を講師に迎えて「発達障害とは?」「強度行動障害とは?」「支援の具体的方策」の全3回連続講座を、社会福祉法人フォレスト福祉会さんと合同で開催しました。

新型コロナウイルスの影響で、日程や受講者の変更などもありましたが、専門性が問われる様々な障がいに対して必要な知識の習得と具体的にどのように支援を構築していくのかを学びました。研修の中で「我々の支援は眼鏡のようなもので、出来るようになったらやめてもいいものではない。眼鏡をとってしまえば見えにくくなるので継続していくことが必要である。」と話しておられ、学びも支援も継続していくことの大切さを改めて意識した研修となりました。

令和  
3年

## 法人合同 研修会





昨年末、アマゾンジャパン合同会社様よりAmazonギフトカード10万円分をご寄贈いただきました。備品購入等にのことで、各班でリストアップして色々な商品を購入させていただきました。

チャレンジA班は足元が不安定な利用者さんのために肘掛け付きの椅子を、チャレンジB班は日々の必需品であるテレビやDVDプレーヤー、CDコンボを、くるみの森班はコードレスクリーナーと電子レンジを購入させていただきました。また、静養される方の寝具の衛生を保てるよう布団乾燥機も購入させていただきました。

アマゾンジャパン合同会社様、本当にありがとうございました。大切に使用させていただきます。

アマゾン合同会社様より  
ご寄贈いただきました

夢工房  
くるみ

News  
&  
Reports

令和3年12月25日、景色の良いサンヒル柏原にて忘年会を行いました。

去年は新型コロナウイルスの影響を受け中止となりましたが、今年は大阪知的障害児者生活サポート協会様の助成を受け、万全の感染防止対策をした上で開催しました。

6月に交代した新旧理事長のあいさつの後、前理事長に向けて過去に退職した職員からのビデオメッセージなどもあり、利用者さんも大盛り上がりでした。

豪華な牛すき焼きのお弁当やケーキを食べ、お楽しみ抽選会ではサンタクロースが登場し、カップ麺の詰め合わせや、お菓子セットなどがプレゼントされました。

皆さんの笑顔にたくさん出会うことができ、開催できたことに感謝です！！

まだまだコロナは続きますが、楽しい、おいしい時間をこれからも過ごしてほしいです。



大阪知的障害児者生活サポート協会様 助成  
くるみ忘年会

令和3年度、土曜開所日には様々な取り組みを実施しました。

外出の取り組みでは、ダムや公園に出掛け散歩をして体を動かしたり、少し遠出して三輪そうめんを食べに行ったりもしました。室内での取り組みでは「自分で作ろう」をテーマに、ホットサンドやピザ、お好み焼きなどを作りました。

このように「普段できないこと」を「楽しむ」ことをテーマに、毎月担当で企画してきましたが、コロナ禍で感染対策の点から活動内容に制限が加わることも多々ありました。そのような状況下でも利用者の皆さんから「次は何するの？」「楽しかった！またしたい」などと担当者冥利に尽きる言葉をもらうこともあり、モチベーションに繋がったものです。



新型コロナウイルスが収束すれば、もっと取り組みの幅が広がります。担当者の頭の中では収束後には「あんなこともできる、こんなこともできる♪」と、様々な取り組みを思い描いています。それまでは、制限がある中でも少しでも皆さんに楽しんでもらえるような取り組みを、利用者さんの声を聞きながら企画していきたいと考えています。

普段できないことを楽しむ  
土曜開所 お楽しみ企画

商売繁盛祈願



1月6日の午後、くるみの森班のメンバー全員で羽曳野の大黒寺さんへ初詣に行ってきました。実は、この数年のくるみの森の恒例行事となっている大黒寺さんへの商売繁盛祈願。昨年もコロナ禍でイベント出店ができない中、アマゾンジャパン合同会社様やNPO法人トゥギャザー様などからたくさんのご注文をいただいたり、新庁舎になった市役所での販売が大好評だったりと、ありがたいお仕事がたくさんあったので、その御礼とともに今年の商売繁盛祈願をしてきました。大黒寺さんには、境内に七福神石像があるので、みんなで恵比寿さま（商売繁盛）にお詣りした後は、各々が好きな神様の所にお賽銭を入れていました。（利用者さんは美容や出世など、職員は延命や家庭円満など…笑）そして、初詣の後はみんなお楽しみのお茶会！食堂でケーキと温かい飲み物を片手に「今年も一年頑張りましょう！」と奮起しました！

今年（新年度）も皆様に喜んでいただけるようなお菓子作り、雑貨作りに励んでいきたいと思います。 担当：阿部

販売予定 [令和3年4月～6月]

- 柏原市立健康福祉センター [12:00～12:45]  
健康福祉センター オアシス 3階ロビー  
令和4年4月12日(火)、5月17日(火)、6月14日(火)
- 柏原市役所販売 [12:00～12:45]  
本庁 1階北出入口 ※状況により変更あり  
令和4年4月26日(火)、5月24日(火)、6月28日(火)

<一般の方向けではありませんが、  
毎月こちらでも販売させていただきます>

- サラヤ大阪工場様
- 大阪府立西浦支援学校様

くるみの森の焼菓子が買えるお店

- 岡村製油 直売所「コットンハウス」様（柏原市堂島町）
- おそうざい お弁当「tant-tant」様（柏原市国分西）
- 玄米食堂すみれ様（藤井寺市道明寺）
- パンと暮らしのcoccoya様（藤井寺市道明寺）
- 市立柏原病院 売店様（柏原市法善寺）
- 国分病院 売店様（柏原市旭ヶ丘） 他

出店販売等につきましては、くるみ福祉会ホームページやくるみの森のSNS(Facebook、Instagram)でもご確認いただけます。くるみの森へ直接お電話いただいても結構です。

072-978-3082 (担当：阿部)

あっと・ほーむ

グループホームの暮らし

Iさん、成人、そして新たな旅立ちおめでとう！

1月10日成人の日、つぼみのIさんが成人式に参加されました。ご自分で働いたお金で振袖をレンタルされ、美容室にて着付けやヘアセットをしてもらった着物姿は、とても美しく凛とされていました。

Iさんは2年前、支援学校を卒業とともにつぼみに入居され、現在の職場に就職されました。慣れない環境の中、自立することを目標に本当に頑張ってきてくれました。念願かなって、1月からは部屋を探し、貯金で必要なものを買って一人暮らしに向けての準備を一緒にすすめてきました。そして、2月25日無事引っ越しを終え新生活を始められました。

つぼみは寂しくなりましたが、元気で、楽しく暮らし、幸せでいてもらいたいです。 くるみの樹 サービス管理責任者 北丸

Iさんのメッセージ

2年間お世話になりました。あつという間でしたが、ここでの生活をして色々な事を教えてもらい良い経験になったとおもいます。これからも頑張ります。ありがとうございました！



ありがとうございました

<寄付金> ◆1月22日 国分市場I丁目 匿名様 ◆2月9日 田中正夫様 ◆10月、11月、12月 匿名様

### 【くるみ福祉会後援会事務局】

〒582-0026 柏原市旭ヶ丘3-13-82夢工房くるみ内  
TEL:072-978-3080 FAX:072-978-3081

発行日：2022/3/24（木）  
発行責任者 笠井 和憲  
編集責任者 青山 郁子

## 常に地道で着実な歩みを!!

コロナ感染が少し落ち着いた昨年末、長年の案件でありました、くるみ福祉会理事と評議員の役員の皆様との会談が催され、三浦新理事長を始め、役員の方々と正に胸襟を開き、多くの話をさせて頂きました。

これからのくるみ福祉会の運営に役立つ話も多く出され、事業所、各界の取り組みにも希望を感じることができました。

東京オリンピック・パラリンピック、又、北京での冬季オリンピック・パラリンピックも、新型コロナウイルス変異株の感染拡大防止の為に、人の流れ三密を避け、ステイホームでの観戦でありましたが、多くの感動・勇気を頂きました。

ここ数年、コロナ感染拡大防止策として色々な行事が中止となり、人と人が表情を見て、その場の空気、状況を感じながら物事に取り組むと言う事がなくなり、人と人との繋がりが希薄となり、我々が関わる社会福祉事業にも影響があり、事業所運営にも大きな障害となっております。

地域の方々に愛され、利用者の方々の安心と安全を守る。その為には今まで以上、事業所の基本的な運営に心がけ、着実に歩んで行かなければならないと考えます。常に地道な安全策の繰り返しを行い、利用者の方々のより安全な取り組みをすることが大切であります。

くるみ福祉会の関係者が一丸となり、この難を乗り越えていき、障害を持つ方々の明るい未来を築ける様、より一層の努力、協力をお願いし今年度の抱負といたします。

くるみ福祉会後援会会長 笠井和憲

### くるみ福祉会後援会へのご入会方法

【個人一口：2,000円 団体一口：10,000円】

- 郵便振替：00980-3-74677
- 加入者名：くるみ福祉会後援会
- 同封の振替用紙にて郵便局でお振込み下さい  
(振込手数料不要) ※1
- 後援会事務局：柏原市旭ヶ丘三丁目13番82号  
夢工房くるみ内 TEL 072-978-3080

#### ※1

令和4年1月17日付でゆうちょ銀行の『料金新設・改定』が施行されました。現金での払込みの場合、金額により加算料金が必要となりますが、口座からの払込みは不要です。払込み金額等の詳細につきましては、お近くの郵便局までお問い合わせください。

### 編集後記(くるみの樹からのお知らせ)

利用者の生活施設であるグループホームくるみの樹の事業を開始して3年が過ぎました。先月末に、つぼみの利用者さんが一人暮らしを希望され、自立に向けた生活を進められています。現在は、男性10名女性9名と1名の空床の状況ですが、単立っていく方を支援していくのも我々の仕事だと思つと感慨深いものがあります。

女性1名の利用者を募集しておりますので、ご利用を希望される方はくるみ福祉会事務局までご連絡下さい。

- 連絡先●  
くるみ福祉会事務局 072-978-3080  
☆日中 9:00~18:00まで  
[担当者までお繋ぎ致します]



### 【後援会の取り組み到達状況】

個人：122名 271口 542,000円  
団体：6団体 8口 80,000円

<合計> 目標75万円

**622,000円 (82.9%)**

### 令和4年度くるみ福祉会後援会への新規入会・更新のお願い

- 障害を持つ方々の明るい未来を築くためには、私達だけでは力不足で、資金を捻出するのも現行の法制度では、非常に難しく限界があります。柏原の地で将来、安心した生活を送ることができるよう、ぜひ皆様方の温かいご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。
- ご入会・更新頂いた会費等は、グループホーム『第2くるみの樹』の建設資金の一部として使用させて頂きます。膨大な自己資金が必要なため、10年を目標に取り組みを進めてまいります。皆様方のお力添えをよろしくお願い致します。



【後援会事務局】